

Aコース就活基礎講座11月16日am

面接対策の基本



担当キャリアコンサルタント
中藤 美智子・佐久間 宏子

講座の目的

面接の場でよく聞かれる質問への回答を一緒に考え、面接の準備をしていきます。

企業側の視点で質問の意図を理解し、どのように回答すると好印象を与えることができるのか知り、自信を持って面接に臨めることを目指していきましょう。



自己紹介 & 気持ちの共有タイム

- ・お名前、自分のことを一言
- ・面接に対して気になっていることは？

面接は得意！！って人はなかなかいないです
不安・緊張は一緒！
みんなで準備して、「不安」を「大丈夫かも！」
変えていきましょう！

面接とは、どのような場でしょうか

企業にとって

- (1) 応募者の情報をさらに深く知る
 - ・書類では読み取れない応募者の情報(考え方、価値観など)
 - ・書類に書いてあることをさらに深く知る
- (2) 応募者とのマッチ度合いを確かめる
 - ・(1)で得た情報をもとに、自社に合う人材か(経験・スキル・価値観・方向性など)
- (3) 応募意欲を確かめる
 - ・自社のことを理解しているか
 - ・自社で働く意欲や思いがあるかどうか
 - ・継続的に働けるかどうか

面接とは、どのような場でしょうか

応募者にとって

- (1) 自分の魅力や応募意欲を伝える
 - ・書類では伝えきれない強み、思い、今後のビジョン
- (2) 応募先企業をさらに深く知る
 - ・求人票や会社HPでは読み取れない企業・仕事の情報
 - ・求人票等に書いてあることをさらに深く知る
- (3) 応募先企業とのマッチ度合いを確かめる
 - ・(1)で得た情報をもとに、自分にとって良いと思えるか（働く環境、社風、方針、関わる人、仕事内容など）



企業を見極め、選ぶ材料を集める場でもある！！

面接の心構え

(1) 企業理解をして、企業視点で捉える

- ・企業が求めていることを知り、接点を伝える
- ・質問の意図を捉えて、自分の言葉で答える

(2) プラスの言葉で伝える

- ・ネガティブな方に目を向けるのではなく、自分のプラスの部分に目を向け、ポジティブ変換して伝える
- ・面接官が持つ疑問を期待に変える

(3) 謙虚さは必要だが、遠慮や謙遜は不要

「自己PRをするのは恥ずかしい」「できると伝えてしまうと後々困るのではないか」など不安は誰にでもあります。面接では自分の良さや応募先企業でイキイキと働いている自分をイメージし、堂々と伝えていきましょう！

自分と企業との「接点(共通項)」を意識する

企業視点に基づき準備すること

組織風土にあっているか

企業が確認している視点

Must
貢献できること

自分

接点

企業

Must
求めていることができるか

Will
意欲・思い
価値観

Can
活かせること・できること

Can
何ができるか

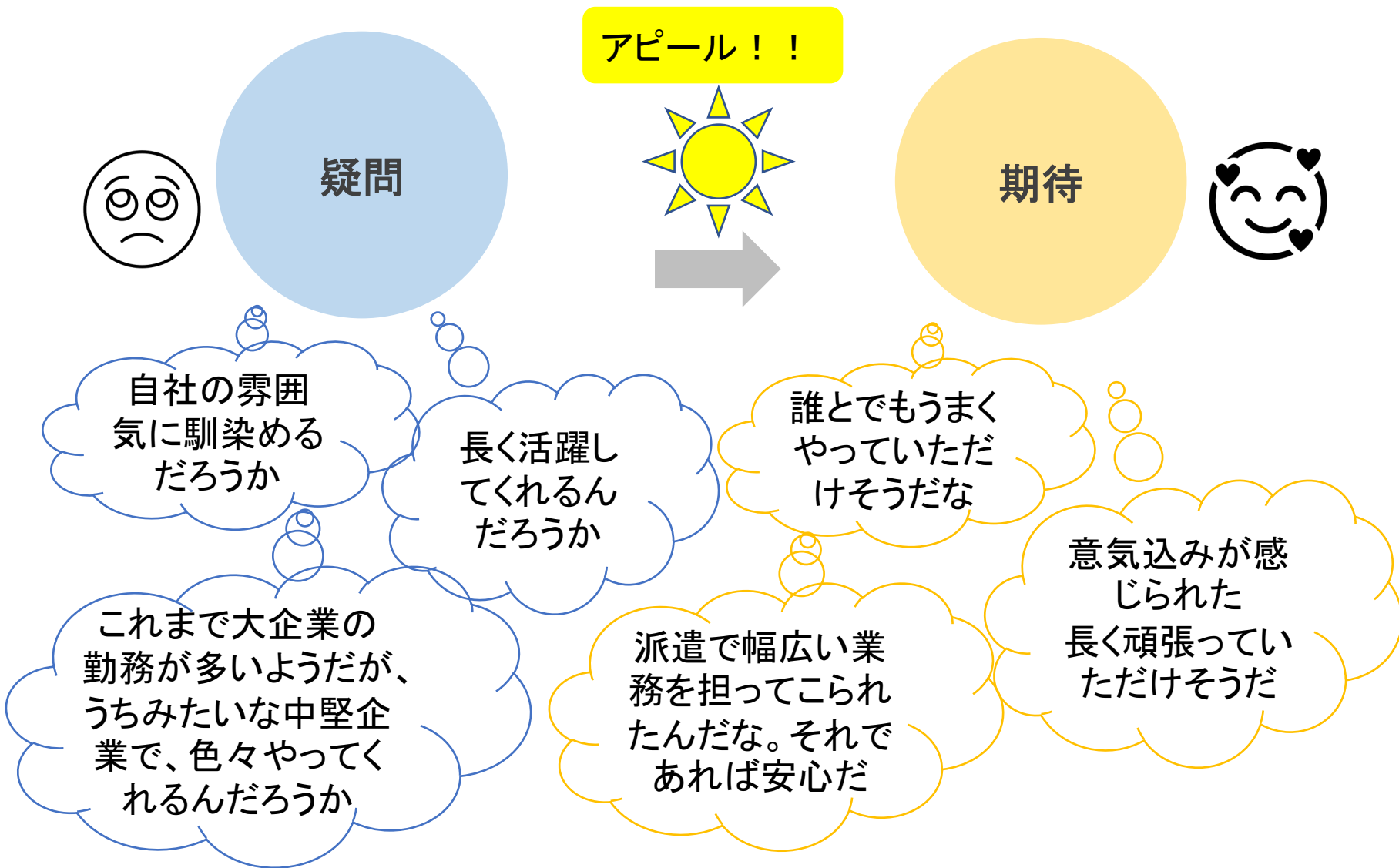
Will
意欲はあるか
価値観が
あっているか

自己理解が必要



企業理解が必要

面接官が持つ疑問を期待に変える



面接で見られているポイント

印象(身だしなみ、マナー、話し方、表情)

- ①相手への気遣いとしての身だしなみ
- ②ビジネスマナーの徹底
- ③はっきりした話し方、明るい表情

適性や資質
(自社に合う人物か)

- ①社風や企業理念にマッチしているか
- ②応募職種に必要な経験、スキル、伸び代があるか
- ③自社のことや仕事を理解しているか

仕事に対する意欲

- ①自発的に物事に取り組めるか
- ②入社意欲があるか
- ③向上心や責任感は強いほうか

誠実さ

- ①質問に対して誠実に回答しているか
- ②言われたことを謙虚に受け止めているか
- ③場当たりではなく、話に一貫性があるか

面接のステップ

一次面接



二次面接
(最終面接)



内定

採用担当者、部門長が中心に面接を担当します。具体的にどんな仕事を任せられるか、といったことが主なポイントです。

また、自社にあっていかなど人柄やコミュニケーションの取り方も見えています。

「これまでどのような仕事をしてきて、何ができるのか」「どのような姿勢で仕事に取り組んできたのか、何を学んできてたのか」「どんな準備をしてきたのか」などアピールしていきましょう！

重役クラス(会社規模によっては社長)との最終面接です。油断せず、もう一度自己PRや志望動機の説明が十分できるよう、頭の中を整理して望むようにしましょう。入社して活躍したいという意欲を積極的に伝えていきましょう！

面接の流れ・よく聞かれること

あいさつ
自己紹介



経歴の確認



転職理由



志望動機



質疑応答

2分程度で、これまでの略歴とアピールポイントを伝えましょう。

応募先企業との接点を意識し、具体的な業務内容、工夫したことやうまくいったことを伝えていきましょう。成功体験や大変だったことを聞かれることが多いです。

具体的なエピソードを用意しておきましょう。

マイナスの言葉はあえて伝える必要はなく、プラスの言葉に変えて、前向きさを伝えていきましょう！

応募先企業の仕事内容の魅力、なぜそう思うのか、できること、やりたいこと、貢献できることを伝えていきましょう。

質問は「意欲」を伝えるチャンスの場合もあります。企業や仕事を調べた上で、当事者意識(=入社して仕事をすること)を持って、不明点を確認していきましょう。

リフレーミングでモノの見方を変える

朝起きたら、雨が降っていました。皆さんはどう捉えますか？

Aさん



雨かあ。濡れるし、
気分も憂鬱だなあ。



Bさん



雨かあ。お気に入りの傘
を使えるチャンス到来！

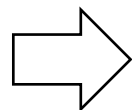


ポジティブ・リフレーミングとは

- ・視点を変えること
- ・マイナスをプラスに捉えなおすこと
- ・マイナスが役立つ状況を見つけること
- ・短所を長所に捉えなおすこと

例えば面接の場面では

転職回数が多いのが
マイナスになるのでは。
面接では触れられたくないな

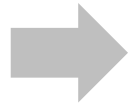


多様な職場環境での経験が
ある。今後どのような環境下
でも柔軟に対応できる！

リフレーミングは逆転の発想→モノの見方を変えると、行動する勇気が出てくる

プラスの言葉へ変換してみよう

1.〇〇の経験はないので
自信がなです



Blank box for positive conversion of item 1.

2.正社員での経験は
あまり多くはないんで..



Blank box for positive conversion of item 2.

3.あまり残業はできない
んですが..



Blank box for positive conversion of item 3.

プラスの言葉へ変換してみよう

1.〇〇の経験はないので自信がないです



〇〇の経験はまだ不十分ですが、〇〇を勉強中で、〇〇までならすぐに実践できます

できることを伝える

2.正社員での経験はあまり多くはないんで…



正社員としての経験は〇年ですが、派遣社員としても〇〇を意識し組織の一員として尽力し、評価されてきました

意識してきたことを伝える

3.あまり残業はできないんですが…



効率的に仕事を進めて成果を出せるよう頑張ります

仕事への向き合い方を伝える

プラスの言葉を使い、あなたの良さを積極的にアピールしていきましょう！

企業理解をして、企業視点で捉える

以下はよく聞かれる質問です。

なぜ、これらの質問をするのでしょうか。意図や知りたいことは？

自己PR

自己PRをお願いします。あなたの強みは何ですか？

志望動機

当社を志望した理由は何ですか？

転職・退職
理由

前職を退職されたのはどのような理由からですか？

質問の意図・回答する上でのポイント

自己PR

これまでの業務のなかでもっとも力を入れてきたことは何ですか？

質問の意図 知りたいこと

「何が強みなのか」「どのような行動をする人なのか」を把握し、「実際に採用となった後に少しでもマッチしそうな仕事は何か」「どのように行動して、力を発揮してくれそうなのか」を検討するための質問。

回答する上での ポイント

自分の強みについて、具体的な場面が浮かぶようなエピソードとあわせて話すことができると、より「その人らしさ」が見えて、面接官に印象づけることができます。

大きなことでなくても良いので、自分なりに意識していたこと、工夫したことを整理してみましょう。

自己PRのあと一歩・改善例

応募職種：営業事務

あと一歩

これまでOA事務や営業事務を行ってきました。使用していたのは、WordとExcelです。あとは、お営業が不在の時に、お客様とのやり取りをしたり、見積書作成など行っていました。正社員の経験はほとんど無いのですが、採用頂けたら、一生懸命頑張ります。

- ・強みが明確でない
- ・経歴ややったことを述べているだけ
- ・正社員の経験がない事をわざわざ言っている
- ・頑張りますと言っているが根拠がない

改善例

私の強みは、臨機応変に対応をすることができることです。営業担当者が不在の際は、顧客対応も任せ、お客様の要望にそって迅速に見積書を作成し、顧客にも営業担当者にも喜ばれ、満足度を高めることができました。今後も、臨機応変な対応力を活かし、営業部門の売上拡大に貢献していきます。

- ・強みを一言で述べられている
- ・応募職種と接点のあるアピールができています

自己PRの型の例

結論 + 具体例(エピソード)

◆臨機応変な対応力

私の強みは、臨機応変に対応をすることができることです。(結論)

営業担当者が不在の際は、顧客対応も任され、お客様の要望にそって迅速に見積書を作成し、顧客にも営業担当者にも喜ばれ、満足度を高めることができました。(具体例) ※他者からの評価の言葉、工夫等
今後も、臨機応変な対応力を活かし、営業部門の売上拡大に貢献していきます。※抱負が入るとベター

自己PRを作成しましょう！

結論 + 具体例(エピソード)

- 私の強みは【 】です
- 具体例

※具体例 (いつ、どこで、何があったのか、その時どうしたのか)
～例えば～、～なぜならば～、～以前〇〇の仕事をしていた時～

質問の意図・回答する上でのポイント

志望動機

当社を志望した理由は何ですか？

質問の意図 知りたいこと

その業種・職種・企業への思いがどのくらいあるのか、また、現在の仕事・環境との違いや、自分のキャリアプランとそのための選択肢を冷静に考えることができているか、を見ることが多いです。

応募先企業のことをしっかり理解しているかも見られています。

回答する上での ポイント

「自分はどうしたいのか、そのためにその企業はどのような位置づけになるのか」「企業のどこが魅力だと感じたのか、それはなぜなのか(=自分の思い)」という形で表現できるとよいです。

特に自分と企業との接点を意識して伝えてみましょう。

志望理由のあと一歩・改善例

応募職種：営業事務

あと一歩

御社の働く環境が良いと思い

学べる機会だと思ったから

やってきた仕事と同様なので

受け身に聞こえる(自分ごとでない)
自分中心に聞こえる(相手視点になっていない)

改善例

働く環境より、自分がやりたいこと
や貢献できることを述べる

学んで、どう成長し、活躍したいの
か述べる

やってきた仕事をどう活かせるの
かを述べる

意欲を感じる(自分ごととして、入社
後の活躍イメージを述べている)

自分と企業との「接点（共通項）」を意識する（再掲）

企業視点に基づき準備すること

組織風土にあっているか

企業が確認している視点

Must
貢献できること

自分

接点

企業

Must
求めていることができるか

Will
意欲・思い
価値観

Can
活かせること・できること

Can
何ができそうか

Will
意欲はあるか
価値観が
あっているか

自己理解が必要



企業理解が必要

志望動機に盛り込む内容の例

「Will /Can /Must」の組み合わせ

Will やりたいこと／転職やキャリアチェンジを希望する理由

Can できること／活かせる経験・ポータブルスキル・資格・
勉強中

Must 応募先から求められることへの貢献について

志望動機の例

「Will /Can /Must」の組み合わせ

この度貴社の求人募集を拝見し「業務拡大に貢献する経理職」という勢いある言葉に心が動きました。 Will

私は事務派遣社員として経験を積んできた中で、経理職として仕事の幅を広げ、その後は経理職の経験を重ねてきました。経理に携わったことをきっかけに簿記を学び始め、たいへん興味深く取り組みました。現在はスキルアップのため、簿記2級取得に向けて勉強中です。 Can

これまで決算業務補助の経験はありますので、今後さらに勉強を重ねて一日も早く安心して任せられる人材になるよう鋭意努力してまいります。 Must

御社に貢献できるよう努めますので、どうぞよろしく願いいたします。

志望動機を作成しましょう！

「Will /Can /Must」の組み合わせ

Will

--

Can

--

Must

--

質問の意図・回答する上でのポイント

転職・退職
理由

前職を退職されたのはどのような理由からですか？

質問の意図
知りたいこと

なぜ今の仕事・職場ではないのか、を聞く質問。
不満や不安だけがもとになっていないか、不満があっても自分なりに解消するための行動ができてきているか。仕事や環境を変えるときに自分のやりたいことや自分に合う環境を理解して次に進んでいるのかなども見られます。

回答する上での
ポイント

ネガティブな内容、それを素直に話すことで正直さ・率直さが伝わることもあります。ただの愚痴・不満で終わらないように、「この経験から、今後はこういうことを目指したい」という前向きな気持ちが伝わるように表現することで、好印象を与えることができるでしょう。

よく挙げられる困った質問1

退職理由はなんですか？

ネガティブな退職理由を
そのまま伝えてもいいのだろうか？

職場環境
人間関係の問題

待遇面、残業へ
の不満

仕事内容
仕事量の不満

体調不良
家庭の都合

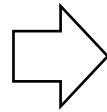
退職理由編

人間関係を理由とする場合

あと一步

前職では、社内の人間関係が悪く、上司に相談しても何もしてくれないので、もう限界だなと思って、退職しました。

面接官は、前職の退職までのやり取りを聞きたいために退職理由を聞いているわけではありません。
人間関係でつまづいてしまうのではと、懸念してしまうことにもつながりかねません。



改善例

前職では、チームでの連携がほとんどなく、トラブルがあっても一人で解決しなければならない状況が続いていました。この経験から、チームワークを大切にする職場で社員の皆様と意思疎通を図り、協力しながら働きたいと思い、退職を決意しました。

明るく
さらっと！

人間関係が原因であっても前職での不満について感情を込めすぎるのではなく、あくまでも冷静にそして新しい職場では前向きになれるような表現にするとよいでしょう。

よく挙げられる困った質問2

なぜこれまで派遣でやってきたのですか？
なぜ正社員になろうと思ったのですか？

これまで正社員をあえて
選んでなかったけど
そのまま伝えてもいいのだろうか？

働き方が
派遣の方が合っ
ていると思って

正社員に応募し
たがなかなか
決まらなかった

今後は安定した
雇用形態がいい

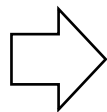
体調や家庭の
問題

派遣から正社員編

あと一歩

これまでは派遣の方が自分の働き方にあっていると思っていましたが、これからは定年まで安定したいと思ったので、この度正社員を目指すことにしました。

自分視点のみで受け身に聞こえてしまうこともあるでしょう。仕事への思いや意欲も伝わってきません。



改善例

これまで自分の働き方を考えた際に、多様な経験をしてスキルを身につけたいと考え、派遣就業を選択してきました。ただ派遣就業だと、どうしても任せてもらえないこともあり、より業務の幅を広げ貢献したいと思い、今回正社員を目指すことにしました。

自分なりの選択理由(自分の仕事への考え方、選択基準など)を伝えると仕事への意欲や思いが伝わるでしょう。

企業側の視点にも立ち、活躍したい、貢献したいという思いもあわせて伝えていきましょう。

好印象を与える回答のポイント整理

ポジティブ変換

一見ネガティブな話は、ポジティブに捉え直し前向きな話をして、意欲を見せましょう！

良いところにフォーカス

自分の弱みではなく、良いところに光を当て、良いところ、できていることを中心に伝えていきましょう！

企業視点に立つ

企業視点に立ち、役に立てること、自分との接点(考え方・価値観など)、成長意欲などを伝えていきましょう！

自分を飾る必要はないです。自分の言葉で伝えていきましょう！

自分がその会社で楽しく働いていることをイメージしてみよう！